令和　5　年度　下　半期 指定管理者管理運営状況シート

1. 施設の概要

施設名	岐阜市盲人ホーム「白杖園」	所管課	福祉部障がい福祉課
所在地	岐阜市京町1丁目64番地		
指定管理者名	一般社団法人　岐阜県視覚障害者福祉協会		
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで		
選定方法	□　公募　　☑　非公募		
料金制	□　使用料　　□　利用料金　　☑　料金徴収なし		
指定管理委託料（年額）	9,494,120円／年		
施設の設置目的	あんま師の免許を有する視覚障がい者の自立更生を図る		
施設概要	◇構造：鉄筋コンクリート造2階建　2階建のうち1階及び木造2階建 ◇敷地面積：342.80㎡　◇延床面積：234.70㎡　◇施設内容：治療室、施術者控室、事務室		

2. 利用状況

		R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期
利用者数（単位：人）		635	600	566	530	486
各室稼働状況（人）	施術者控室（通所者数）	291	286	302	349	332
	治療室（受療者数）	344	314	264	181	154

3. 業務の履行確認

区　分	確　認　事　項	履　行　状　況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市盲人ホーム条例規則に基づき履行 ②園長1名・指導員2名・職員2名・運営委員4名で運営 ③ホームページ・看板・広告・チラシ・広報紙 ④苦情はありませんでした。
自主事業・提案事業	―	―
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②夜間警備業務 ③非常通報装置保守点検 ④利用者用駐車場の管理 ⑤光熱水費の支払	①日常的な清掃は職員が毎日行っている。 ②セコム警備会社に委託 ③テルウェルに非常火災通報装置保守点検(毎日)を委託している。 ④3台（1台は予備）確保している。 ⑤光熱水費は利用者のサービスの低下にならない範囲で節減した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①今期修理箇所は無し ②施術の勉強のため大広間に木製ベットを設置した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①職員・受療者・通所者の個人情報の保護に努めている。 ②緊急連絡網を作成し、職員・通所者に周知 白杖園・友楽園との合同防災訓練を行い、防災に対する意識を高めた。 ③岐阜市盲人ホーム条例・あん摩マッサージ指圧師等に関する法律及び規則を遵守している。

4. 利用者評価

利用者アンケートの実施状況	●1月15日～2月14日までの1ヶ月間　46　人のアンケートを実施した。
利用者アンケートの実施結果	●アンケート回答総数　46人（男性23人、女性23人） 【年齢】 30代2人、40代3人、50代6人、60代7人、70代6人、80代17人、90代1人、未回答4人 【来園方法】 自動車31人、自転車6人、徒歩5人、その他4人 【職員の対応】 良い46人 【施術の評価】 満足43人、やや満足3人 【施設管理（コメント）】 ・「大変良いと思いました。」 ・「とてもきちんと整理されていると思います。」 ・「良い。」 ・「とてもきれいで落ち着きます。」 【その他（コメント）】 ・「楽になりました　ありがとう！」 ・「施術して下さった方も、受付の方もとても感じよく、また、来させていただきます。」 ・「ありがとうございました。」 ・「今後共よろしくお願い致します。いつもありがとうございます。」 ・「いつもすっきりした気分で帰れます。身体が楽になります。」 ・「いつもきちんと施術していただき感謝しております。」 ・「一生懸命やって頂きました。」
利用者からの要望・苦情と対処・改善	●施設の老朽化のため、リノベーションしてほしいという意見がありました。 ⇒（増築前の部分を全体的に見てとのこと）

5. 指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・運営委員会を開催し、利用者のニーズを把握する。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・ホームページを公開する。 ・チラシ配布や看板の設置	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・地域の関係機関を通じて、施設を施術者研修の場として利用してもらえるよう取り組む。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートを実施し、要望を把握する。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口応対、プロモーション、設備の整備など）	・接遇に関して、電話での応対等明朗であることを心がける。 ・施術者に適切な施術とコミュニケーション指導を行う。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・地域の関係機関を通じて、施設を周知し、利用者の掘り起こしに努める。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者へのアンケート実施し、特に苦情や要望があった内容については改善を図る。	S	S	S
		施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・国家資格を有するの指導員を1名以上配置する。	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・光熱水費縮減のため、サービス低下につながらないよう配慮しながら、節電・節水をする。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性（無理はないか）	・管理責任者を配置する。 ・指導員1名以上を配置する。	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生／破産手続き開始の申立てをしていない。 ・法人市税等の滞納がない。	A	A	A
		組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・国家資格を有する指導員の配置	S	S	S
		スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・管理責任者を配置する。	A	A	A
		スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・研修会に参加し、他施設と意見交換することにより指導技術を高める。	A	A	A
		リスクへの対応方策（防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・非常時対応マニュアルに基づいて対応。避難訓練の実施。	A	A	A
		リスクへの対応能力（資金力、損害賠償能力など）	・保険に加入し、賠償責任が問われる事案に対応	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）	・岐阜市内に事業所を構える業者を一部業務の再委託先にする。	A	A	A
		地元での資材等の調達	・地元の業者で調達する。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地域の防災運動会等への参加	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・施設周辺の清掃。 ・年に一度、無料奉仕を行う。	A	A	A
		区分評価				A

6. 指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	【努力した点】 ・盲学校、関係団体、過去の退園者へ通所者を掘り起こした。 ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ対策として、空気清浄機、消毒液、マスク及び体温計を常備した。 【反省点】 （なし） 【自己評価】 ・通所者への技術指導や園内外の清潔さを保つ清掃等、適切に運営している。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	【取組み状況（検討結果、取組中・取組済みのもの等）】 ・施術者は受療者に対して主な症状を把握し、カルテを作成。個人情報保護のため、鍵のかかる場所に保管した。 ・適切に施術できるよう技術向上のために週1回程度元盲学校の先生に技術指導を依頼し、園長も技術指導を行った。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症等の感染症対策・熱中症予防を行った。
今後の取組み	・技術向上をはかり早期自立できるように指導していきたい。

7. 所管課の意見

【受療者の増加について】
・5年度には、地元広報誌への広告掲載を行う等、新たな顧客の発掘にも努めており、ここ数年、受療者を増やす取り組みを行っている点が評価できる。今後も継続していただきたい。

【今後の課題】
・通所者が増えないことが課題である。
・関係機関等への地道な掘り起こしを継続していただくとともに、新たな方策も検討していただきたい。

8. 指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。